

## 「テストパーク」機能要件 仕様

### ■ 概要

1. デジタルテスト(CBT : Computer Based Testing の略)機能を保有すること。
2. 「テスト」に収録されている教材は文部科学省学習指導要領に準拠し、本市が採用する教科書に対応していること。

### ■ 「テストパーク」基本機能

1. 「テスト」に収録されている教材は、小学校版で4～6年生の国・算・理・社、中学校版で1～3年生の数学、2年生の理・社・英の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿ったテストを実施できる機能を有していること。また、先生は子どもに対して当該学年以外の内容もテスト配信ができること。
2. 教員が、任意のテストを選択し、配信する仕組みを有すること。このとき、選択したクラス・個人別に、回数に制限なく配信できること。
3. テスト機能において、選択肢(単答)、選択肢(複答)、分類、記述式(直接入力式/キーボード入力式 選択可)、数値入力(直接入力式/キーボード入力式 選択可)等の解答パターンを有し、問題特性に応じた解答パターンを表示すること。
4. テスト機能において、手書き入力とキーボード入力の解答形式に対応していること。
5. テスト機能において、個人単位でルビの出し分けに対応していること。
6. テストの採点において、部分点に対応していること。
7. テストの採点において、選択式問題、短答問題及び数式問題については自動採点機能に対応していること。
8. テストの採点において、設問ごと、子どもごとに切り替えて採点ができること。
9. テストの結果について、各クラスの子どもごとに、テストの得点率や平均得点率の一覧を CSV 形式で出力できること。
10. 「テスト」では、解答に関する操作とは異なる操作をした際に、不正抑止を目的とした通知を子ども側、先生側にそれぞれ表示させる機能があること。
11. 「テスト」では、問題をダウンロードしてからテストを開始する仕組みを採用し、テスト受験中にネットワークが繋がらなくなった際も、子どもは解答を続けることができること。

### ■ その他の機能

1. 教科書改訂に際しては、教科書単元データ更新について、契約期間中では無償バージョンアップ対応を行うこと。
2. 契約期間内に採択教科書変更、指導要領改訂が行われた場合でも、最適な教材が使えるよう更新を無償で行うこと。また、その仕組みを持つこと。
3. 学齢に応じて配当漢字に配慮し、画面表示を行う機能があること。
4. テスト機能において、解答に関する操作とは異なる操作をした際に、不正抑止を目的とした通知を子ども側、先生側にそれぞれ表示させる機能があること。
5. テスト機能において、問題をダウンロードしてからテストを開始する仕組みを採用し、テスト受験中にネットワークが繋がらなくなった際も、子どもは解答を続けることができること。

## ■ セキュリティ対策

1. 以下セキュリティ機能を有するサービスであり、利用者が任意に利用できること
  - ・IP 制限によるアクセス制御機能
  - ・管理者アカウントについては、二要素認証機能を有すること。
  - ・パスワード強度を任意に変更できること
2. WAF・IDS/IPS・マルウェア対策ソフト・ファイアウォール等により、多層防御を行っていること。
3. サービスのメンテナンスを行う際、また個人情報等の機微な情報を取り扱う際は、専用区画からのアクセスを原則とし、専用区画への入退室管理を徹底すること。入退室に際しては、生体認証や金属探知機等を用い、不正利用を防止する方法が採用されていること。
4. サービス提供事業者がプライバシーマーク及び ISO/IEC 27001 の認証を取得していること。
5. 「ドリル」「テスト」「授業支援」については、サービス提供事業者において ISO27017 認証を取得していること。

## ■ 共通事項

1. 個別学習に対応した「ドリル」、単元確認テストに活用できる「テスト」、協働学習・一斉学習・個別学習それぞれの学習場面で活用できる「授業支援アプリ」を保有すること。
2. 「ドリル」「テスト」「授業支援アプリ」には、同一の ID・PASS にてログインが可能であること。
3. 「ドリル」「テスト」「授業支援アプリ」に収録されている教材は文部科学省学習指導要領に準拠し、本市が採用する教科書に対応していること。
4. 「ドリル」「テスト」「授業支援アプリ」の活用を一元的に支援するサイトを有し、支援サイトからアプリそれぞれの活用事例、操作動画、FAQ にアクセスできること。活用事例は、技能教科も含めて掲載されており、学年・教科・活用目的・テーマに応じて検索できること。
5. 教員が自由に申し込み・参加ができるウェブセミナーを毎月行っており、活用を促進できる体制が整っていること。

## ■ 注意事項

1. OS、ブラウザ、端末のスペック、クライアント端末やブラウザの設定、ネットワークの設定、インフラ環境等について、別途提示するミライシードの使用条件を満たすこと。
2. ミライシードを使用するときは必ず学校所有の端末を使用することとし、各家庭内においてミライシードを使用したい場合は学校所有の端末を各家庭に持ち帰ること。（児童生徒の各家庭で所有する端末でミライシードを使ってはならない。ただし、急遽の休校対応や自然災害等の発生時等、やむを得ない事由で端末の持ち帰りが不可能な場合においては、その限りではない。）

以上